

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 鶴見大学歯学部保存修復学講座  
教授 桃井 保子 先生

演 題： 日本歯科保存学会編う蝕治療ガイドラインができるまで

日 時： 平成29年2月23日(木)17:00～20:00

場 所： 7号館(歯学部校舎棟)5F、保存矯正示説室

抄 録：

日本歯科保存学会は、2009年に初めて「う蝕治療ガイドライン」を公開し、その後、これを更新して2015年には第2版を公開した。現在は、2020年公開に向け第3版の作成作業が進行中である。この間、悲喜こもごも経験したが、最大の経験はガイドライン作成ツールそのものがMinds(2007)からGRADEへと変わったことである。Minds(2007)では、エビデンスの質評価や推奨の強さが個別の研究の研究デザインに依存したものとなる。一方GRADEでは、個別の研究を評価するのではなく、研究横断的な系統レビューを実施しエビデンスの質を総体的に評価する。両者を経験し、ここから浮き彫りになった具体的な課題をみなさんと共有したいと考えている。

連絡先： 川島 伸之（歯髓生物学分野 内線 5495）